

令和4年度 朝倉市の未来予想図（高校生の提言）発表会

【日 時】 令和4年10月16日(日) 13時00分～16時00分(開場12時30分)

【場 所】 朝倉市役所 本庁4階議場(朝倉市菩提寺412番地2)

【テーマ】 未来につなぐ朝倉の環境

【応募数】 59件

●発表者

タイトル				内 容
市長賞	水の都：あさくら～Water Triangle Planの提唱～			<p>朝倉市の水資源環境は地域の必要な魅力である。</p> <p>行政が行うこと</p> <p>①古処山系に基づく清流資源を芸能人を使ったPR動画で発信していく。朝倉水をペットボトルで限定販売する。(ICタグをつける)</p> <p>②スイゼンジノリのPRと保護、開発、雇用の促進を行う。シンポジウムの開催や、「サクラン」活用企業の誘致、「黄金川」フェスティバルの開催</p> <p>③朝倉市の社会的人口層を意識して施策を行う。</p> <p>④市民が目指す朝倉市の未来像を表現した言葉の募集を行う。</p> <p>教育現場では授業でスイゼンジノリ等の水に関する伝統文化について学ぶ。防災についても学ぶ。</p> <p>ボランティア清掃を行う。</p> <p>既存の専用アプリを活用する。</p>
	グループ	高校名	学年	
	朝倉共創☆戦略化チーム	朝倉高等学校	1	
タイトル				内 容
第2位	環境をよくしてホタルを増やそう			<p>小中学生を対象にホタルの生態やホタルを通じた環境づくりについて学ぶ。きれいな水質や流れを作り出すため清掃活動をする。既存の活動と結び付けて組織化する。</p> <p>ホタルの幼虫を放流する。また、幼虫のエサとなる巻貝やカワニナ、そのエサになるジャガイモ等をまく。</p> <p>朝倉市のHPにある「ほたるマップ」を広める。</p> <p>秋月をホタルの名所とすることで初夏に観光客や宿泊客が増える。</p> <p>SNSを使って認知度を高める。エコツーリズムとしてホタルの観賞をツアーとして企画する。SNS等でホタルに関する情報を流し、リアルタイムのホタルの出現を伝えると見逃すことはない。市内全体のホタルに関する関心を高める。</p>
	グループ	高校名	学年	
	ホタル防衛隊	朝倉高等学校	1	
タイトル				内 容
第3位	命を守るための新たな教育 ～九州北部豪雨から学ぶ～			<p>H29年九州北部豪雨の経験を今後の対策に活かす。</p> <p>小学校で水害教育の場を設ける。実践的かつ楽しく学べる水害教育を行う。低学年にはクイズ形式で行う。高学年には調べ学習を行い、ポスターを作成し、全体に共有してもらう。</p> <p>消防団に講義、講習をしてもらう。地域の特徴を織り交ぜながら行う。膝まで水がある状態で歩く等の実践学習も行う。</p> <p>自ら学ぼうとすることが朝倉市で起きた出来事を風化させないことに繋がる。</p>
	グループ	高校名	学年	
	総文レンジャー	明善高等学校	2	

タイトル			内 容
グリーンな街づくり ～みんなでまもろう～			グリーンカーテンを広める。市や、地域のボランティアも協力する。地域や家庭ではあまり見かけないため、高校生が中心となって教育施設や福祉施設などにグリーンカーテンを設置する。グリーンカーテンをつくることで直射日光を遮ることができ、電気の節約になる。自然の良さについて伝えるため、子どもと保護者が一緒に参加し、植物を植える。 グリーンカーテンについての説明や効果、目的を記載したポスターやチラシを高校生が作成する。
グループ	高校名	学年	
EAST CREATERS (Tone Project)	朝倉東高等学校	1・2・3	
タイトル			内 容
食品ロス削減から始まる豊かな朝倉市づくり			食品ロスによる環境汚染や温暖化の進行を食い止めるために、「食品ロスシールを集めて応募しようキャンペーン」を実施する。廃棄や賞味期限間近の商品に貼られた食品ロスシールを集めると景品と交換できる事業。ポスターの掲示や「手前取りPOP」を設置し、キャンペーンを推進する。 「歩いてQRコードを集め食品ロスを削減しようキャンペーン」の実施。店舗やスポットに設置されたQRコードを読み込むと、食品ロスに関するクイズが表示される。正解するとポイントが付与され景品と交換できる。。同時に食品ロスについての豆知識も学ぶことができるようにする。朝倉市散策や、運動のきっかけになる どちらのキャンペーンにも子供たちが親しみやすいようにマスコットキャラクター（リスマロ）を起用する。 景品は朝倉市はフルーツが有名なため、フルーツを使う。破損等により廃棄予定の物をジャムやドライフルーツなど保存性が高いものにする。 キャンペーンに必要なポスターやシール等は高校生が作成する。 SNSで周知する。
グループ	高校名	学年	
昭和cook's	昭和学園高等学校	3	
タイトル			内 容
減らせ流木DIY			ダム流域の流木流出率が他市のダムに比べて高いが、端材や間伐材の活用例は少ない。廃材を活用したDIY教室を小学校や公共の場で開き、難易度によってコース分けし、年齢に関係なく楽しめるようにする。またグループで制作することで、個人の尊重や思いやり、絆の深まりなど人権学習にもなる。 また、「あさくら未来マルシェ」で、流木を使った商品の販売や、流木の発生量や再利用に関する講話を実施する。持ち帰りやすくした流木の配布も行う。 SNSやポスターで広報活動をする。 流木を処理する際に発生するCO ₂ やCOの削減や、環境に対する意識を向上させることができる。
グループ	高校名	学年	
朝倉光陽	朝倉光陽高等学校	3	

タイトル		内 容	
関係人口とともにつくり上げる未来のあさくら		<p>人口減、少子高齢化、荒廃農地等の増加、自然災害に対する脆弱性、農業産出額の減少を解決するために、関係人口を増やす。それが財源増加にも繋がり、環境保全に使えるお金も増える。</p> <p>そのために「Go To ASAKURA」のポイント付与事業を行う。旅行者が条件を満たした場合にPayPayポイントの付与を行う。</p> <p>これらの業務は旅行会社に委託する。また、近隣のうきは市と連携して行う。SNSで特定のタグをつけて投稿することでポイントを付与する。</p>	
グループ	高校名	学年	
上野 天楓	筑紫女学園高等学校	3	